



南中だより

柏崎市立南中学校

令和 2 年 6 月 25 日

第 3 号

<http://kedu.kenet.ed.jp/minami/>

「青春・熱血!プロジェクト」で、部活動の締めくくりを!

5月18日から1日日程で学校が再開されてから、早くも1ヶ月以上たちました。生徒たちは、みんな元気に学校生活を送っています。部活動も、6月9日から本格的に再開されました。再開するにあたり、各部でミーティングを開き、今後の活動の目標や計画を話し合いました。こんな時だからこそ、生徒と顧問みんなで心をつなげて頑張ろうというミーティングとなりました。毎日、放課後の南中には、子どもたちの頑張る姿が戻ってきました。授業を終えるとすぐに下校という姿から、ひたむきに躍動する南中生の姿があります。中学校の本来の姿を目の当たりにして、なんだか嬉しい気分にもなります。

ご存じのとおり、この子どもたちの頑張りが発揮されるべき地区大会や県大会が中止となり、とても残念な思いです。そうなのでも3年生が一生懸命頑張る姿を見ると胸が痛くなります。

そこで、柏崎刈羽の部活動はこのままでは終われない!と、あるプロジェクトが立ち上がりました。名付けて“青春・熱血!プロジェクト”です。

“青春・熱血!プロジェクト”とは・・・

このプロジェクトは、8月末まで中体連主催の大会を含むすべての事業の中止により、部活動に汗を流す生徒の活躍の場がなくなったことを受け、実施されるものである。

特に3年生がこれまで頑張ってきた成果を発揮する場を設け、中学生としての競技にけじめをつけることを目的とする。

あわせて、2年生・1年生が、試合で全力を尽くす3年生の勇姿を直に目撃することで先輩たちの凄さを実感し、これからの活動に弾みをつけるきっかけになることを期待するものである。プロジェクト名は、正式大会の中止の無念を、青春前期の中学生が、熱血なプレーではね飛ばし、順位や記録を追いかけるばかりでなく、「記憶に残る企画」となればという願いから命名したものである。



以上のことから、運動部活動は、7月4日(土)から7月18日(土)までの土日を使って練習試合形式で対外試合を行うこととなりました。順位の決定や上位の大会へつながるものではなく、賞状も表彰もありません。しかし、試合まで一生懸命練習したという達成感や成就感を味わってほしいと願っています。保護者会などでも説明はあったかと思いますが、詳しい内容は各部から出される参加計画をご覧ください。なお、新型コロナウイルス感染症対策のため、様々な規制がありますので、それらへの対応を確実にお願いします。(観戦・応援は、家族に限定し、参加登録カードを提出したもののみ認められる など)

吹奏楽部は、これから秋に向けコミセンなどで演奏する機会があれば、積極的に演奏会に向いていきます。また、音楽祭での演奏も予定していますので、楽しみにしてください。文芸部については、活動で製作した作品を校舎内に展示したり、体育祭・音楽祭のポスター作成に取り組んでいきます。運動部だけではなく文化部も、それぞれのけじめ・区切りについて考えながら活動していきます。

※ このような取組も、現状が継続される、または好転することを前提としています。日常生活が戻るとともに、改めて感染防止対策の徹底は忘れてはなりません。子どもたちがもっともっと思いっきり活動できるよう、皆様からのご理解とご協力を、重ねてお願いいたします。

一ヶ月遅れで、今年も綾子舞伝承学習が始まりました！

6月9日（火）、今年度の『綾子舞伝承学習』発足式が行われました。例年より1ヶ月遅れてのスタートとなりました。また、今年は新型コロナウイルス感染症対策として、少しでも「三密」を避けるため、新道小学校を会場として行うこととしました。舞の練習に先立って発足式が開催され、冒頭、綾子舞保存振興会長 茂田井信彦会長から「今年はどうなることかと心配でした。皆さんの練習の成果を楽しみにしています。」とご挨拶いただきました。事務局校の佐藤校長は「今年は今までにない特別な状況になりました。しかし、綾子舞は500年以上続いています。きっともっと大変なこともあったでしょう。でも昔に人たちは、いくつもの困難を乗り越えてこの綾子舞を伝えてきました。皆さんも負けずにやれることを頑張りましょう。」



と激励のメッセージを送りました。



南中学校・新道小学校の伝承学習が始まって、今年は30年目になります。全部で60名（中学生は18名）が、11月6日の伝承学習発表会を目標に舞の練習に精を出します。下野・高原田の両座元から12名の指導者の方からお越しいただき、発足式後早速、今年最初の練習が始まりました。広い体育館に広がって、あるいはマスクをしたまま踊るなど慣れない形でのスタートとなりましたが、それ以外はいつもと変わらぬ練習風景が見られました。

伝承学習部部長は新聞社の取材に対して「小3から7年間、綾子舞に取り組んできました。今年はあまり練習ができず、久しぶりに踊ったので疲れました。伝承学習最後の年なので、感謝の気持ちを込めて踊りたいです。」と答えていました。

子どもたちは、伝承学習のほか、9月の現地公開、11月のアルフォーレ公演などにも参加します。また、綾子舞自体、ユネスコの無形文化遺産への登録が期待されていると聞いています。地域の宝・地域の誇り「綾子舞」の伝承に、今年も全校で取り組んでまいります。

今年度も「〇〇で一句」で創造力・表現力アップを目指します！

自分が思っていること、感じていることを【五・七・五】で表す川柳。その川柳でその時々の想いを伝えることによって、子どもたちの創造力や表現力をアップするのではないかと考えています。この取組を始めて3年目を迎えます。短い文章の中に、子どもたちの素直な気持ちが表れていて、なかなか楽しい句が作られるようになってきました。

今年度最初のお題は『いよいよ2年度スタート！で一句』です。さとうひでき賞を獲得した作品の中から“特選（各学年1名）”をご紹介します。

【1年代表】 朝から さわやかあいさつ 中学生

【2年代表】 笑顔でさ 終われるように 前向こう

【3年代表】 今やって 後悔すること 絶対ない

【職員代表】 マスクでも 「日々是好日」 前向きに

今回のさとうひでき賞は、全校で34名でした。30日の全校朝会で表彰いたします。

今後もよい作品をどんどん紹介してまいります。乞うご期待！



<今後の予定>

6月25、26日 前期中間テスト

＊1年生には、初めての定期テストです！

7月3日（金） 青春・熱血！プロジェクトに
向けた“激励会”

7月7、8日（火・水） NRT（標準学力検査）

7月13日（月） 高校説明会

7月17日（金） 体育祭結団式

7月27～29日 個別面談

8月7日 休業前集会 8日～夏季休業